

すけこ

通信

No. 3

2012. 7. 13.

笛吹すけこの会
<連絡先>

石和: 大竹 茂
TEL/FAX 055-263-2832
御坂: 神宮司 正人
090-4379-2961



暑中 御見舞
申し上げます

2012 盛夏



行って見てきました! 地震・津波のあと 福島はまだまだ。。。福島支援研修会

6月12~13日、「笛吹すけこの会」が催した大震災の現地を見る研修会。会員27名、梅雨空を心配しながらも、道中ほとんど降雨なし。

茨城から福島へ入り、まずはいわき市塩屋峠付近へ。美空ひばりの歌碑は復旧していたが、周辺の集落は見渡す限り土台だけ。中学校の校庭には依然としてガレキの山……。やはり「来て見てよくわかったー!」と参加者の感想。

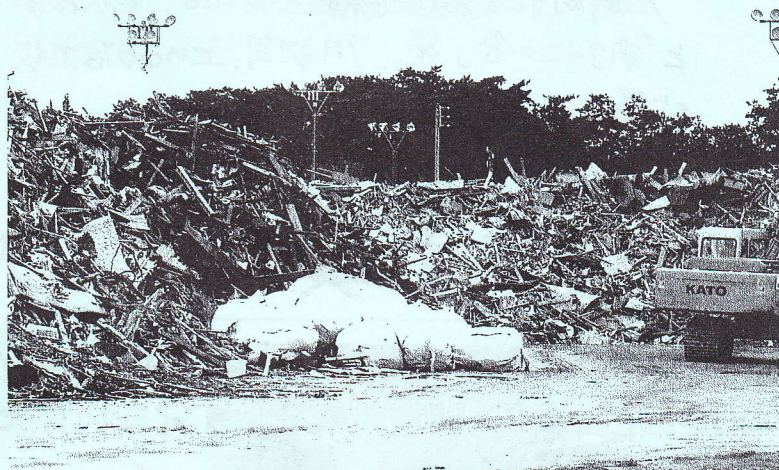
昼食の海鮮料理。お土産やの魚店も、魚は宮城・岩手から仕入れているとのこと(福島の海はまだ休漁中)。

広野町の人たちが住む四倉町の仮設住宅へ…。春日居町からのジーマンアイリスの苗600株を広野町社協職員に渡す。

夕刻、「スパリゾートハワイアン」へ。8時すぎからフラダンスの熱演を観る。観光も支援のひとつという。少しは福島の経済に貢献できたのだろうか。

2日目は猪苗代へ、野口英世記念館を見学。

英世のロボットが、お客の質問に答えるーなんてすごい! 春日居の小川正子資料館とは姉妹館とのこと。ともに難病(黄熱病とハンセン病)に立ち向った2人をたたえよう。



▶ガレキの山…いつになったら?◀

公園や校庭などに山積みになっているガレキ。福島では放射能の影響とあってとくに処理がすすまない。忘れてはならない光景。ガレキの量はハンパじゃない。